



# 青少推だより

2026  
3月1日  
第62号

館林市青少年育成推進員連絡協議会 編集発行



## ネット社会の「安全運転」と大人の役割

六郷地区 西田 忠宏

現代の子供たちは、インターネットという「超便利な F1カー」を巧みに乗りこなしています。しかし、その便利さの裏には常に危険が潜んでおり、実は私たち大人こそがリスクを正しく理解せず、無自覚に悪い見本を示している現状もあります。「スマホを置きなさい」という大人の目線が、実はスマホに釘付けなんていう矛盾が、子供への説得力を奪っているのかもしれない。

だからこそ、群馬県の「おぜのかみさま」運動を、今一度地域全体で共有すべき「安全運転の鉄則」として再認識しましょう。児童・生徒の皆さんは、このルールを自分を守る盾にし、もし道に迷った時は遠慮なく「助けて」と声を上げる勇気を持ってください。それは決して弱さではなく、自分を大切にするための最も賢い選択です。そして、私たち大人は、まず自らのネット利用を見直しつつ、彼らが安心してSOSを出せる温かな伴走者であり続けたいものです。技術がどれほど進歩しても、最後は人と人との対話が、子供たちを支える最強のセーフティネットになると信じています。



## 館林市青少年育成運動推進大会



大島地区 飯島 一志



古澤 滋先生

令和7年11月1日に(第38回)館林市青少年育成運動推進大会が文化会館小ホールで行われました。青少年顕彰表彰では、青少年個人や育成指導者15名・団体の部1団体が表彰を受けました。記念行事の講演会では、青少年に対するサイバーセキュリティ対策等のお話を群馬県警サイバーセンターの古澤様に講演いただきました。大人たちが情報リテラシーを学ぶことの重要性を再確認しました。また、今回表彰された青少年の方々が、地域の担い手として活躍されることを楽しみにしています。



## ケータイ・インターネット問題啓発講習会 「スマホの落とし穴-親子・地域で考える-」

赤羽地区 横山 芳正

11月11日(火)市役所研修室にて、ぐんま子どもセーフネット活動委員会インストラクター小林千秋さんを招き、ケータイ・インターネット問題啓発講習会が開催されました。大人も子どももインターネットが欠かせない生活になっています。しかし便利な反面、金銭のトラブルや人々のつながりのトラブルが増えてきています。「トラブルを避けるため内容などをよく考え確認して使い、子どもにスマホなどを使わせる場合は、子どもと一緒にインターネットの使い方ルールを決めて便利に楽しく使いましょう。」というお話をしてくださりました。私たちも日々進化するインターネットを勉強していかなくてはなりませんね。



小林千秋先生